

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国際言語文化論 (英語)	
科目基礎情報							
科目番号		LK1504A		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科		制御情報システム工学科		対象学年	5		
開設期		前期		週時間数	1		
教科書/教材		山久瀬洋二『日英対訳 アメリカQ&A』, English-Japanese Dictionary					
担当教員		Ambrose Richard,高木 朝子,教務係 (または非常勤講師)					
到達目標							
1.Students can participate in class discussions and share their ideas. 2.Students can memorize and recite passages with loud, clear voices, eye contact and good pronunciation. 3.Students can complete their assignments with proper grammar and spelling and can understand what they read.							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
Conversation / Expressing Opinions		Students participate in class discussions and share their ideas.		Students answer questions put to them and provide basic examples of their thoughts.		Students cannot follow the discussion or reply with single word answers.	
Public Speaking		Students can memorize and recite passages with loud, clear voices, eye contact and good pronunciation.		Students can read aloud with loud voices and good pronunciation.		Students read slowly and quietly while staring only at their papers.	
Reading / Writing		Students complete their assignments with proper grammar and spelling and can understand what they read.		Students complete their assignments with few grammatical errors and look up what they do not understand.		Students make basic grammatical and spelling errors and read without understanding.	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		This class will allow students to develop their English communication skills whlie providing an overview of American history, culture and society.					
授業の進め方・方法		The goal of this class is to allow the students to feel comfortable in an English-speaking, American-style setting. They will have discussions, express their opinions and give short speeches on a variety of topics relating to American life and culture.					
注意点		Participation is mandatory. Using smartphones and sleeping in class will have an affect on the students' grades. Students need after-class study for 90 minutes per a lesson.					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Class overview, classroom English, textbook and assignments		Basic Q and A: What is your image of America?		
		2週	USA Geography		Famous locations & attractions, climate		
		3週	USA Geography (continued)		Students' research on American locations		
		4週	American People		Population, diversity and regional differences / famous Americans		
		5週	American People (continued)		Student's research on American people		
		6週	American History		Native Americans, European settlers and Independence		
		7週	American History (continued)		Students' research on important moments in American history		
		8週	American Politics/ Review for 1st Test		Diplomacy / American Presidents		
	2ndQ	9週	TEST		TEST		
		10週	Civil Rights / "Glory" Part I		Racial discrimination and slavery, film viewing and discussion		
		11週	Civil Rights / "Glory" Part II		Film viewing and discussion. Civil rights, Martin Luther King Jr.		
		12週	US Economy		American business (domestic and international), Silicon Valley		
		13週	US Economy (continued)		Students' research on US busninesses		
		14週	US Society / Review for final test		Freedom, social problems and everyday life in the USA		
		15週	TEST		TEST		
		16週	Class Review and Summary		Student's final thoughts on America		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2	

				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前3,前4,前5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前3,前4,前5
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前3,前4,前5
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前3,前4,前5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前3,前4,前5
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前3,前4,前5
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前3,前4,前5
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前6,前7,前8,前9
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前6,前7,前8,前9
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前6,前7,前8,前9
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前6,前7,前8,前9
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前6,前7,前8,前9
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前10,前11,前12
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前10,前11,前12
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前10,前11,前12
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前10,前11,前12
工学基礎		グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前13,前14,前15,前16
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前13,前14,前15,前16
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前13,前14,前15,前16
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前13,前14,前15,前16

評価割合

	Tests	Research, Participation	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0